

小金井ネット2023年度会計報告

生活者ネットの議員の報酬は、議員報酬に係る所得税や住民税、健康保険や年金などを納め、議会担当として月20万円と2回の賞与

(各1月分)で年間280万円を議員に支給し、残りを政策実現の資金として資金管理団体「安田けいこと生き活きねっと」へ寄付しています。

議員報酬の使い道

生活者ネットの議員や皆さまからの講読カンパや寄付、会員の会費などで生活者ネットの運営をしています。事務所を借りて事務局

を置き、議会報告会や学習会の開催、調査活動などを市民と共にに行って、議会での質問や提案につなげています。その選挙費用はネットで積み立て、活動のハードルになる候補者の負担はありません。政治は生活を豊かにする道具です。その道具を使いこなすため、議会に市民の代理人を送り、とともに活動しています。

年に一度、年間1,000円の講読カンパのご協力をお願いしております。ご無理のない範囲でご支援いただければ嬉しく存じます。

ネットの議席は

選挙はカンパとボランティアで行い、市民の声を市政に届ける議員を送り出しています。その選挙費用はネットで積み立て、活動の

● 安田けいこ議員報酬収支報告 (2023年1~12月)

収入合計	約824万円
議員報酬	約820万円
委員会手当など	約4万円
支出合計	約824万円
所得税・住民税・国保・年金	約198万円
議員退職時手当・税金等引当金	60万円
安田受け取り額(20万円×14ヶ月)	280万円

資金管理団体
「安田けいこと生き活きねっと」へ寄付
約285万円

- 資金管理団体から小金井ネットと東京ネットへ寄付します。

● 小金井ネット収支報告(23.1~12.)

収入合計	約627万円
▶主なもの	
繰り越し(選挙積立金を含む)	約315万円
会費・寄付・講読カンパなど	約309万円
支出合計	約627万円
▶主なもの	
人件費	約112万円
光熱水費・事務所費	約137万円
備品・消耗品費	約31万円
機関紙発行など	約78万円
調査研究費	約10万円
寄付・交付金	約3万円
繰越(選挙積み立てを含む)	約251万円

こがねっと レポート

2024.11.13 発行
発行: 小金井・生活者ネットワーク
発行責任者: 田頭祐子

no.156

小金井・生活者ネットワーク

検索

政治は
あなたの暮らしを
良くする道具です

日々の暮らしからの
声と市政をつなぐ、
あなたの声をお寄せください。
小金井・生活者ネットワーク

「市民の議席」で 生活者ネットが実現!

市民参加のまちづくりってなに?



小金井・生活者ネットワーク
〒184-0013
小金井市前原町3-40-1
小金井スカイコーポラス311-A
tel/fax. 042-387-1068
E-mail: koganei@seikatsusha.net
HP http://koganei.seikatsusha.net

生活者ネットワーク
つて何?
生活者ネットワークは、都内32の自治体にあり、1人の都議会議員と39人の区・市議会議員を持つ地域政党です。「政治は生活を豊かにする道具」ところえ、身近な問題を解決するために、政策をつくり、議会に提案していきます。

3つのルール

1.議員はローテーション

議員を職業化・特権化せず、交代しながら参加の輪を広げます。交代後は、地域の活動にその経験を活かします。

2.議員報酬は市民の活動資金に

議員報酬は、調査活動や学習会など市民の活動資金として使います。お金の流れは、公開しています。

3.選挙はカンパとボランティアで

選挙は政治に参加する入口です。カンパとボランティアで選挙を行います。

156号目次

生活者ネット が実現させた こと

1-2面

松下玲子さん
衆院選初当選

3面

平和部会
・福祉部会
活動報告

3面

小金井ネット
会計報告

4面

2015年6月、小金井に初めて常設プレーパークがオープン。また2022年9月、小金井に「子どもオンブズパーソン」の窓口が開設。これらは小金井・生活者ネットワークが政策に掲げ、市民の声をもとに求め続け、実現に至った子ども施策です。生活者ネットは、生活クラブ生協運動グループの地域協議会と共に、「一言提案」運動に30年来取り組んでいます。暮らしの中で気になったことやこうなつたらいいな、という声を年に一度のアンケートで聞きとります。そこにある困り事こそまちの課題。そこから市長に政策提案し、解決のための予算化を求めています。

忙しい子どもたち、毎日開いているプレーパークがあれば、せめて月に1回でも思いつき遊ばせたい。子どもの問題を子どもでも相談でき、解決するまで寄り添ってくれる「子どもオンブズパーソン」が欲しい。

これらの切実なまちの声があつたからこそ、生活者ネットは市議会で訴え続けました。実現までにプレーパークの常設化は6年、子どもオンブズパーソンは13年かかりましたが、子どもの声が響くまちになりました。それには、市民の声を議会へまちづくりに活動する役割意識を持つ市議会議員が必要です。生活者ネットでは、それを「市民の議席」と呼び、交代しながらつなげています。(2面に続く)